杉二小同窓会報

第18号
2012年

東京都杉並区立
杉並第二小学校
同窓会
事務局発行

会いましょう杉二で

杉並第二小学校同窓会　会長　松田　輝雄

上に向けた顔は春の風が当たり、桜の白い花が目に写りました。どの花びらが私の肩に降りそいだ時、杉二小の校庭には溢れるほど入学の日の喜び、学校が二部授業だったり、ランドセルが無かった一年生の頃、給食は脱脂粉乳、裸足で走った運動場、広い田んぼと善福寺川の天王橋。そんな、あらゆる喜びの固まりが詰まっている杉二での記憶。その中で、一番を競って自慢するほどお前小さかったよなと、兄かまわれたのも、今は懐かしい。大きな声をあげ、所かわいつもからかわれたのも、今は懐かしい。大きな声をあげ、所かまわず走り廻った校舎。プールも無かった学校。あの、はるか遠い六年間。いま、杉二の前を歩いて静かに感じる子ども達の声。そして仲間と歩いている姿が大きな背になっている生徒たち。木の壁はコンクリになり、大きなガラス窓の校舎に変わっている。同窓会は、仲間と逢う日です。あの日と同じに、大きな声と笑顔と、飛び上がるまでの興奮に出合う同窓会へ、参加して下さい。お出で下さい。仲間の皆様を待ちます。

第27回　同窓会総会開催のお知らせ

1. 開催日　平成24年6月10日(日)

2. 会　場　杉並第二小学校体育館　(スリッパの用意あり)

3. 同窓会進行
   -1. 開場　12時
   -2. 杉二小ウィンドバンド演奏(校歌斉唱共)　12時20分～12時45分
   -3. 講　演　13時～13時40分
   　「杉二小の最近の児童の動向」　杉二小校長　師岡孝明氏
   -4. 総　会　13時45分～14時15分
   　議題(1)平成23年度会務報告
   　(2)平成23年度収支決算報告、会計監査報告
   　(3)平成24年度事業計画(案)
   　(4)平成24年度事業予算(案)
   　(5)役員改選
   　(6)その他
   -5. 同窓会文庫寄贈式
   -6. 懇親会　14時20分～16時
   　会費　4,000円　(立食形式ですが、テーブル周囲に椅子をご用意)

本年も恒例の同窓会総会を上記の通り開催いたすことになりました。
旧職員の方々にもご出席いただきます。杉二小ウィンドバンドの皆さんによる吹奏楽演奏、杉二小師岡孝明校長先生による講演、そして懇親会を予定しています。
皆々様お誘い合わせの上、ふるってご出席賜りたくご案内申しあげます。

杉並第二小学校同窓会　会長　松田　輝雄

第二十六回総会(二〇一一年)概要報告

二〇一一年六月十二日(日)に、母校体育館で師岡校長、林副校長、現役教諭、及び旧職員の皆様をお迎えし、実施致しました。昭和十三年卒の高橋初男氏による講演は、同氏の杉二と郷土史―杉二小時代の様子と杉二近辺の五日市街道の歴史について興味ある内容でした。

総会では藤井眞人議長のもと諸議題の審議が粛々と行われました。総会は九三名、懇親会は九二名の皆様が参加、現・旧職員の皆様を交え、会食と会話を大いに楽しみました。

会場準備に今年もウィンドバンドOB関連のお母様方、PTA野球部のお父様方のご協力を頂き、誠にありがとうございました。

現・旧職員の百十名と会員二千百四六名の方々に総会案内・会報を郵送し、八百十八名の方から出欠返信を頂きました。

全員で校歌斉唱

素晴しい演奏の杉二小ウィンドバンド

講演者:高橋初男氏

講演に聞き入る会員と児童

松田会長ご挨拶

役員の皆様

師岡校長先生

渡辺先生

古山先生

二瓶先生

黒川先生

現役若手先生方と二瓶先生

議事進行に聞き入る会員の皆様

同　左

懇親会宣言の稲束常任理事と松田会長

各テーブルで懇親会開始

世代を超えてはずむ会話

18年卒の皆様のテーブル

林副校長先生(右から二人目)と31年卒の皆様

今回も大勢ご参加の25年卒の皆様

平成二十三年度同窓会活動報告

平成二十三年四月四日　会計監査
四月九日　第一回定期理事会
四月三十日　総会資料印刷作業
五月一日　総会案内状発送作業
六月四日　第二十六回総会準備会
六月十二日　第二十六回総会・懇親会
七月九日　常任理事会
九月三日　第二回定期理事会
十月十四日　杉二小教諭との懇談会
十月十五日　第三回定期理事会
同窓会文庫関連懇談会
平成二十四年一月二十八日　第四回定期理事会
三月十日　常任理事会に会長・理事長が参加、その他学校行事を迎えた平成二十四年二月三日、開校百二十七周年を祝う記念集会で高橋初男氏(昭十三年卒)が昔の杉二小の様子を児童に話しました。

平成23年度収支決算報告

(自 平成23年4月1日　至 平成24年3月31日)

1. 総収支(単位:円)

区　別	前期繰越金	期中収入	期中支出	次期繰越金
予　算	1,799,000	181,000	710,000	1,270,000
決　算	1,799,000	733,556	668,522	1,864,034

2. 期中収支(単位:円)

収入の部			
科　目	予算額	決算額	摘　要
会　費	80,000	169,000	新卒業生112名そして既卒業生57名から頂きました。
寄付金	100,000	514,562	207名さまから頂きました。
雑収入	1,000	49,994	総会剰余金49,716、利息278
合　計	181,000	733,556	

支出の部			
科　目	予算額	決算額	摘　要
事業費	250,000	235,975	会報代金44,700、楽器維持費50,000 講演謝礼30,000、図書代金99,400、その他
会議費	30,000	31,429	
印刷費	20,000	21,418	
事務用品費	10,000	4,170	
通信費	330,000	341,830	総会案内 2,255通発送(190,140) 返信用葉書(2500x50)　その他
雑　費	40,000	33,700	運動会祝金10,000 郵便局等払込手数料23,700
予備費	30,000	0	
合　計	710,000	668,522	
繰越金の部			
繰越金増加額	0	65,034	
繰越金減少額	529,000	0	

注:総会関連費用は別途単独決算、詳細を次年度総会時に報告

平成二十四年度のスタートにあたり

杉並第二小学校　校長　師岡　孝明

四月六日から、平成二十四年度が始まりました。今年度は、新一年生七十六名を迎え、全校児童五六一名でスタートしました。子供たち一人一人が新たな出会いと進級の喜びをかみしめながら、力強い一歩を踏み出していければと思っています。

杉並第二小学校は今年度一二八年目を迎えました。平成二十四年度は教育目標

○よく考える子　○心豊かな子　○たくましい子

の中の【心豊かな子】を重点目標とし、学校教育全般を通して児童の指導に全教職員であたっています。

そのために「自己肯定感を育てる学校」「わかる、知る、できる学びを提供する学校」「地域のみんながつどう学校」の三本を柱とした教育活動を実施しています。また、平成二十四年度のキャッチフレーズとして「子供・保護者・地域・教職員が誇る学校」を念頭に日々の教育活動に力を注いでいます。

同窓会の方々にもこの杉二小へぜひお越しいただき、一二八年目を迎えた学校をご覧いただきたいと思います。

児童に読まれています！

―同窓会文庫の状況―

藤井眞人（昭三十年卒）

同窓会発足時に同窓生と学校の絆を保つ目的で開始された同窓会文庫図書寄贈は粛々と実施されていますが、昨今の文字離れの風潮に実際に児童教育に役立っているのだろうかと心配の声が出ていました。平成二十三年十二月十四日（土）、校長先生、図書担当木下先生、司書苗田先生、同窓会から眞鍋・北林・蕪山・高橋・八ツ藤・稲東・藤井・仲尾の役員八名が参加、同窓会文庫活用実情をヒアリングしました。

五・六年児童図書委員が先生方のご指導の下、分担当番として月・金曜日の貸出と毎日の返却・閲覧・整理を実施、利用は二〜四年生中心に多い時は二〜三十人とのこと。貸出・返却の台帳管理は木下先生・地域ボランティア支援本部の方のご指導を得て、手作業で行っています。六年生が一年生に絵本を読み聞かせたり、お母さん方（PTA）の協力で、児童に本を読ませる努力・試みをしているそうです。子ども達に有効活用されていることを知り、とても嬉しく思いました。「同窓会文庫室へのパソコン導入による図書室との一元管理を進める」「支援本部に、同窓会としても参加していく」「PTAとの連携を進める」等々の活動計画の立案し、今後とも文庫の維持発展を目指すことを再認識致しました。会員諸氏のご理解とご協力、どうぞよろしくお願い致します。

杉二小教諭陣との懇談

渡辺愛子（昭三十七卒）

平成二十三年九月三日（土）当日は熊野神社秋祭り。地域行事ご参加予定の校長先生、副校長先生及び、若手新任教論七名の方々を交え、杉二小校長室で懇談を行いました。同窓会からは岩田・高橋・桐村・渡辺・高村・稲東・南・北林・仲尾の九名の役員が参加し、稲東役員より①創立から関東大震災、②関東大震災以降、③戦後、という三つの時代を軸に地域の特徴・歴史概略の紹介を行いました。農村地帯、都心に住んでいた人々の移住、尋常小学校と国民学校、戦争の激化と疎開、学校給食開始、六〇年代の東京住宅事情改善（団地建設）、鉄筋校舎建設等各世代にとって杉二小と共に忘れ難い記憶であろうと思いました。

夫々の役員からも色々な杉二小代の思い出を紹介。昔の授業内容の多様性紹介などが切り口となって懇談が続き、現役先生方との交流の第一歩が踏み出せました。

歴史のひとこま：昭和23年卒のひと組と木造校舎

会員短信（敬称略）

（第二十六回総会案内への返信より）

昨年の東日本大震災、該当地域ご在住同窓生ご本人・ご親族・或いは知人の方々等から無事である旨の情報を頂いております。先生方を含め、約四百名の方々から近況をお知らせ頂きました。紙面の都合上、初記載を優先させて左記に絞りましたことどうぞご了承ください。

☆宮崎信子（昭十三年卒）
日本女性の平均年令をやっと越え、健康で多忙に過しています。孫七人曾孫子二人です。体の動くうちは人に奉仕して有意義な老後を過したく努力しています。

☆簗田長世（昭十六年卒）
年々衰えていますが、まだ二㌔ぐらい休まず荷物を持って歩きます。去年十月から囲碁教室に行っています。

☆花渕太（昭十八年卒）
御蔭様で末孫も本年御校を卒業させて頂き、これで小生より三代に亘り杉二にお世話になりました。有難うございました。小生も傘寿となりました。

☆丸野廣一（昭十九年卒）
偶数月の第一土曜日、代々木「ナル」にてジャズヴォーカルライブを楽しんでいます。要するに鼻唄歌って遊んで・・・ってわけです。

☆神谷　信彦（昭二十一年卒）
職場のOB仲間、大学、高校の同級生達と囲碁を楽しんでおります。囲碁の前後は必ず食事会又は飲み会があり、これも大きな楽しみです。

☆江畑澄枝（昭二十二年卒）
日々変りゆく秋葉原の近くの下町で夫とどうにか元気で過して居ります。ストレッチで体をきたえ乍ら、コーラスを楽しみ乍ら、老人会ではピアノの伴奏をして皆さんと童謡を歌ったりして居ります。

☆伊東照雄（昭二十五年卒）
四月末三泊四日能登半島先端部周遊、5月一五〜一六日甲府一泊二日の旅行をしました。ここの処旅行づいております。

☆田川孝夫（昭二十七年卒）
今回の地震では下野市は震度六強、家の中はグチャグチャ、ピアノが四十cmも動き外壁にヒビが入る状況でした。何とか元気に日々送っています。

☆長久保定夫（昭二十八年卒）
七十才を過ぎ、パートですが仕事を持っています。同窓生との出合いを楽しみにしています。

☆塩川昌久（昭三十年卒）
杉二を卒業して半世紀以上がたち、私も古希を迎える歳になりました。今は現役も引退し、毎日好きな事をし、日がな一日を過しております。

☆山本秀雄（昭三十三年卒）
野球少年だった私は、今も野球に関わっています。中学生の公式野球チーム（入間リトルシニア）の事務局長として元気にやっています。

☆山田清志（昭三十四年卒）
小学校五年を先頭に孫五人、下は幼稚園の中等部。近くに住む孫達が毎日のように声をかけてくれて元気付けられています。今年六五才。まだまだ、頑張ってます。

☆大谷トミエ（昭三十五年卒）
四十年間の教職（東京）の後、スタジオを購入しクラシックの一流の演奏家をお招きしてコンサートを開いています。杉二小なつかしいです。

☆篠原明（昭三十六年卒）
リタイヤ後、お店と野菜作りを楽しんでいます。リタイヤ後も働くことが重要ですネ。働く目的が変化しますが。

☆中澤信子（昭三十七年卒）
昨春定年退職を迎え念願だった孫育てにワクワクドキドキの毎日です。（仕事で子育てを親にまかせていたので）腰を痛めぬよう健康には気をつけています。

☆佐々木京子（昭四十一年卒）
会報をいただくと子供時代の懐かしい思い出がよみがえります。もうすっかり変っていることと思いますが・・・。

☆吉橋日出（昭四十二年卒）
お世話になっております。いつか友と出席できる日が来ると思います。よろしくお願い致します。

【お詫びと訂正】
前号での前会長犬丸直様お名前誤植、お詫びし訂正致します。

終身会費納入は一度のみです！

年会費制ではありません。
原簿との照合結果にて寄付金･終身会費の振り分けを行わせて頂いております。

【郵便振替】
00160－0－180240
東京都杉並区立
杉並第二小学校同窓会

【銀行口座】
みずほ銀行阿佐ヶ谷支店
普通貯金　593241
杉並第二小学校同窓会

南北バス「すぎ丸」案内

阿佐ヶ谷～浜田山」間を 双方向共
15分間隔で運行しています。

杉ニ小前のバス停
･浜田山行き:　「杉ニ小前」
･阿佐ヶ谷行き:　「三年坂」

今年も多くの方々からの寄付に感謝！　平成23年度寄付者芳名(2011年4月1日～2012年3月31日)　:敬称略

昭 6年卒	昭16年卒	昭21年卒	昭23年卒	昭25年卒	昭25年卒	昭28年卒	昭31年卒	昭34年卒
長久保 昌一	松岡 明	有馬 龍夫	斉藤 孝男	安藤 一成	渡邊 勝	白井 京子	久野 忠雄	村上 美代子
昭 8年卒	簗田 長世	岩田 和保	相良 禎二郎	岩崎 信雄	保崎 眞知子	千田 亀佐子	西村 キミ	山崎 治子
大竹 恭子	昭17年卒	加藤 武	佐藤 正敏	岩田 吉一	昭26年卒	内藤 千代子	福山 徹夫	昭36年卒
本橋 保正	小尾 知彦	大場 サワ子	髙田 聰	宇都 千勢子	八戸 至	信国 祐介	宮下 節子	池田 早苗
昭11年卒	村松 力	蕪山 美津子	高橋 清	小野崎 利勝	穴澤 幸子	船木 晃一	吉田 宣昭	小高 久美子
犬田 章	山本 保	川畑 一男	田宮 由道	小原 紹一郎	片山 普門	昭29年卒	若村 愛子	川井 美津子
昭13年卒	昭18年卒	北林 迪男	角田 幸子	笠井 水江	勝村 克子	石澤 勲	昭32年卒	昭37年卒
阿部 トヨ	大塚 サク子	児玉 佳与子	刀祢 恭男	菊地 久子	門倉 正明	石田 一成	小笠原 康子	高橋 紀子
五十嵐 寛	大場 昌弘	小沼 陽子	仲俣 義信	北村 智次	川久保 十士雄	内田 二郎	田林 小百合	村野 明
磯崎 露子	岡田 成一	小林 良治	東山 圭吾	木下 和美	小池 怜子	鈴木 治子	松浦 昇	渡辺 愛子
小木曾 美知子	岡本 栄	清水 正陽	樋川 暢	小島 光子	田所 高子	関 妙子	山本 佳子	昭38年卒
清水 不二	折戸 利夫	園田 耕造	比屋根 博子	小林 重治	中川 サチ子	平野 實	昭33年卒	幸田 惠美子
谷津 俊一	國井 成子	長谷川 美恵子	松田 宗貞	佐藤 嘉一	藤村 陽一郎	昭30年卒	桐山 道代	昭39年卒
昭14年卒	倉持 實	平岡 敏子	山下 英子	杉浦 茂雄	昭27年卒	亀山 和義	熊谷 尚也	川畑 辰巳
堤 祐英	中野 了	廣瀬 三代子	昭24年卒	瀬尾 行弘	酒井 政国	雁部 輝子	嶋 征一	南雲 文彦
昭15年卒	中村 進	森 榮	井出 宏子	髙村 靖夫	宍戸 紀子	塩川 昌久	鈴木 征夫	日置 祐子
岡田 玲子	橋本 幸信	昭22年卒	内田 一義	常深 一成	末澤 秀明	種村 幸子	竹内 尚武	昭40年卒
岸 はる子	増田 八重子	青木 道彦	河鍋 翯	長塩 征生	田川 孝夫	辻 毅	水上 洋子	岩井 孝寿
渡辺 富江	眞鍋 孝子	黒岩 純一	高木 冨代	西崎 登	羽尾 悦子	富田 道子	森田 一彦	昭41年卒
昭16年卒	昭19年卒	桜井 澄子	坂井 幸子	堀口 貞雅	松田 輝雄	藤井 眞人	山本 和夫	植竹 久子
安藤 幸吉	石嶺 美登里	本田 幸子	仙仁 宏	本田 澄子	南 秀郎	松村 宣勝	昭34年卒	梅本 幸子
岩田 鍬藏	梶沼 文子	昭23年卒	本橋 勇	前田 シズ江	本木 守	松本 昭夫	牛田 和宣	高木 正明
志賀 昭夫	沼尻 浩造	石野 照久	吉田 貞夫	村上 章子	昭28年卒	森岡 可津江	小川 一治	昭42年卒
中井 資員	昭20年卒	小澤 滋樹	吉田 泰造	森生 淳彦	青山 英理	昭31年卒	恩田 望	岡本 成美
福崎 尹久	宮澤 昭子	神戸 信司	昭25年卒	守矢 和人	川田 三保子	小原 威夫	桐村 則子	深山 治久
松尾 桃代	岡田 弥生子	近藤 美智子	安芸 夕希子	森山 耕作	黒田 元子	川久保 達也	清水 淳子	中林 政代